

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策 (松江市立法吉小学校)

平成30年9月25日

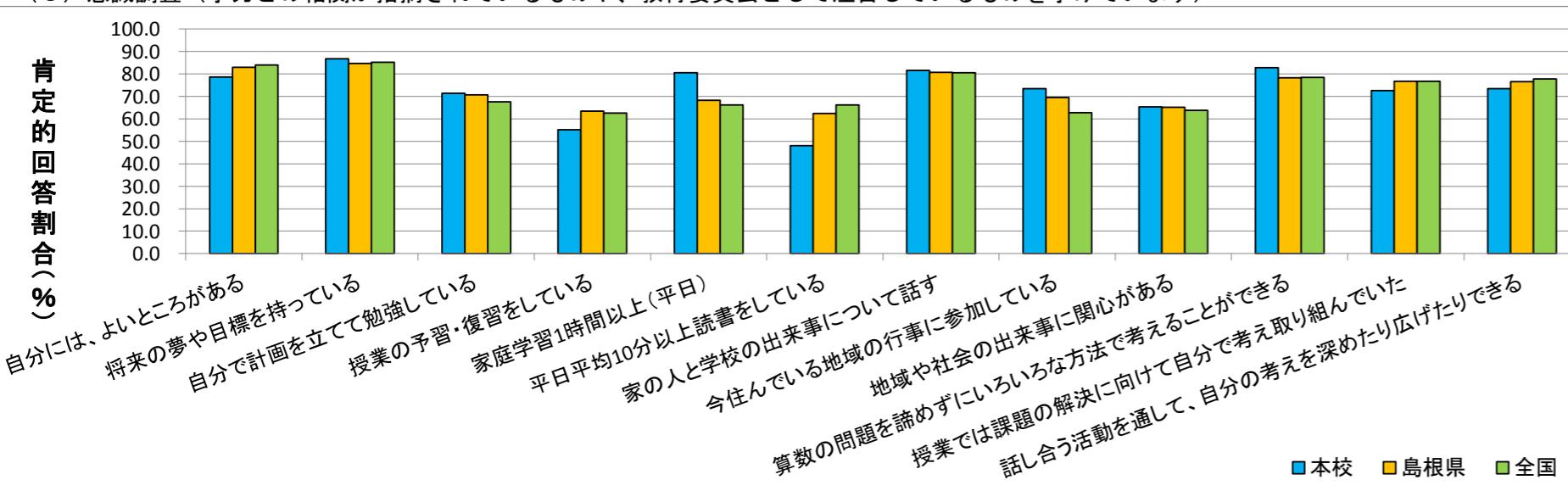
(1) 学力調査結果から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)		対 策
国語	○目的に応じて必要な情報を捉える力 ●文の中における主語と述語の関係に注意して、文を正しく書く力	・授業において、自分の考えを短時間でまとめて記述したり、テーマに沿った文章を書いたりする指導を継続する。 ・学校図書館と連携し、読書意欲を高める活動や、資料を活用した授業を展開するなど、学校図書館活用教育を引き続き実践していく。
	○話し合いの参加者として、質問の意図を捉える力 ●目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む力	
算数	○180°の角の大きさを理解する力 ●単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解する力 ●直径の長さと円周の長さの関係について理解する力	・繰り返し基礎基本の習熟を図りながら、既習事項を用いて問題解決していく学習活動を多く取り入れる。 ・操作をする、図形を描く等の操作的活動の充実を図る。 ・「めあて→考える→学び合い→まとめと振り返り」という千鳥の杜学園学習スタイルを継続して実施する。
	○示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述する力 ●合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見出す力	
理科	○乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用する力 ●人の腕が曲がる仕組みを模型に適用する力 ●より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら分析して考察する力	・問題から条件や答えを導けるように、結果、言葉、グラフ等をしっかりと読み解く時間をとる。 ・観察や実験の提示の仕方を工夫したり、生活事象と結び付けたりして、理科に対する意欲の向上に努める。

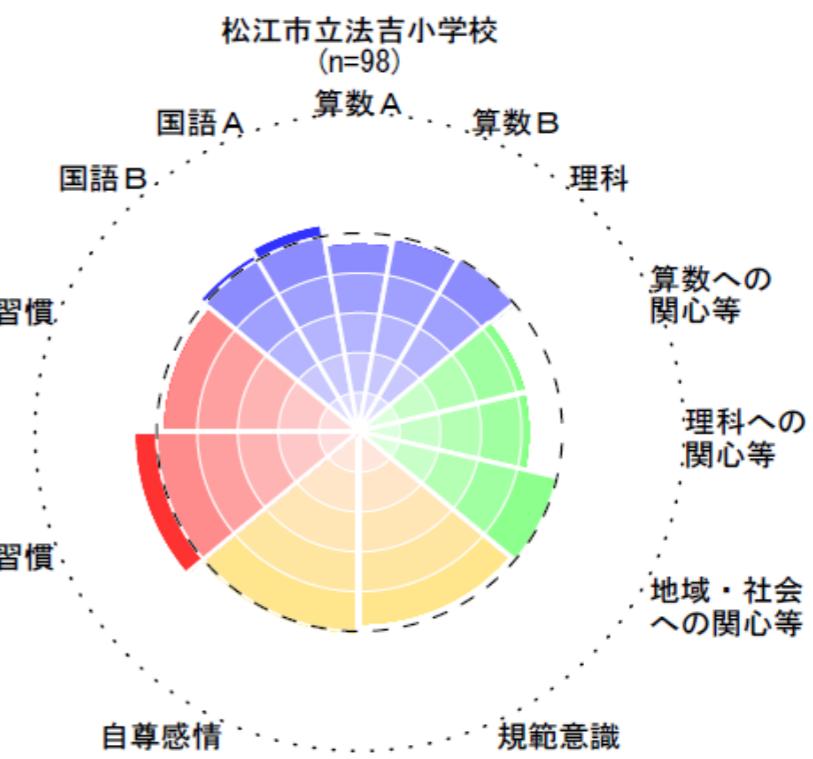
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)		対 策
○家庭学習に1時間以上取り組んでいる児童の割合が県や全国に比べて多い。 ●自分には良いところがあると思っている児童の割合が低い。 ●平日10分以上読書をしている児童の割合が低い。		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の良さをお互いに認め合ったり、最高学年として有用感を持たせたりすることで、自尊感情を高める。そのため行事や振り返りの活動等を充実させる。(ふり返り作文、感想発表等) 学校図書館と連携し、読書意欲を高める活動を工夫したり、資料を活用したりする学習に取り組めるよう支援する。

(3) 意識調査 (学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向 (破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- 各教科等で話し合い活動を充実させる。
- 「書き取り会・計算会」の全学年実施により、基礎学力の向上を目指す。
- 学力調査の成果と課題を全職員で共通理解し、基礎基本の充実を図る。
- 授業中のノート指導や家庭学習での自主学習ノート指導を重点に、書く指導を継続する。

【参考】

○平均正答率

		本 校	松 江 市	島 根 県	全 国
国語	A	72	70	68	70.7
	B	55	57	55	54.7
算数	A	61	62	61	63.5
	B	50	50	49	51.5
理科		60	59	58	60.3

受検者数 98 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受験者数をもって表示しています。